

CL6700

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CL6700 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2014 年 10 月 9 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みにになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～3 年間	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～2 年間	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL（生産終了）が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。が、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではありません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予想できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	3
安全にお使い頂くために.....	4
全般	4
ラックマウント	6
同梱品.....	7
本マニュアルについて.....	8
マニュアル表記について.....	9
第1章 はじめに.....	10
概要	10
特長	11
システム要件.....	12
LCD コンソール	12
セカンドコンソール.....	12
ケーブル	12
OS.....	13
製品各部名称	14
フロントパネル	14
リアパネル.....	16
第2章 セットアップ方法.....	17
セットアップの前に.....	17
標準ラックマウント.....	17
イージーセットアップラックマウントキット	19
セットアップ	23
第3章 基本操作.....	25
コンソールを開く	25
コンソールを閉じる.....	26

操作上の注意事項	27
LCD OSD 設定.....	28
LCD ボタン	28
調整設定	29
ホットプラグ	30
シャットダウンと再起動	30
ポート ID の割り当て、およびポートの選択	30
ホットキー	31
第 4 章 ファームウェアアップグレード.....	32
ファームウェアアップグレードユーティリティ.....	32
作業を始める前に	32
ファームウェアアップグレードモード	33
アップグレードの実行.....	34
ファームウェアアップグレードリカバリー	38
ファームウェアアップグレードモードの終了	38
付録.....	39
製品仕様.....	39
Mac キーボードエミュレーション	41
Sun キーボードエミュレーション	42
トラブルシューティング	43

FCC

本製品は FCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

本製品は、FCC (米国連邦通信委員会) 規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

RoHS

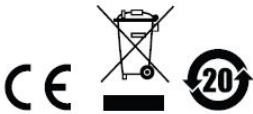
本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会および理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせ適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には

何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 「UPGRADE」と書かれた RJ-11 コネクタを公衆通信網に接続しないようにしてください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ デバイスレールのリリース用ラッチを押しながらデバイスをスライドさせてラックに出し入れする際にはスライドレールに指を挟まないようにご注意ください。
- ◆ デバイスがラックに挿入されたら、慎重にレールをロックする位置までスライドしてください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。
- ◆ **注意:**ラックにマウントされた LCD KVM ドロワーを柵や作業スペースとして使用しないでください。



同梱品

CL6700 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CL6700 19 インチ LCD 一体型 DVI KVM コンソールドロワー
(標準ラックマウントキット取付済み) ×1
- ◆ USB DVI KVM ケーブル(2L-7D02U) ×1
- ◆ 電源コード ×1
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1
- ◆ イージーセットアップラックマウントキット(ショート or ロング) ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CL6700 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに:CL6700 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ:CL6700 のセットアップについて説明します。

第3章 基本操作:CL6700 の機能概要および操作方法について説明します。

第4章 ファームウェアアップグレード:お使いの CL6700 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。



◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。



矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

CL6700 は、19 インチ DVI 対応 LCD モニター、フルキーボードおよびタッチパッドを 1U サイズのラックマウントに搭載可能なハウジングに統合し、また AC 内部電源を搭載し、オーディオにも対応しているシングルレールタイプの KVM コンソールドロワーです。

CL6700 は ATEN 製 DVI タイプの KVM スイッチと互換性があるため、新たに KVM スイッチの機能を搭載した KVM ドロワーに買い替えなくても、本製品と併用することによって簡単にラックマウント用のコンソールを追加することができます。

CL6700 はシングルレールデザインなので、LCD モニターとキーボード/タッチパッドモジュールはそれぞれ個別に操作することができます。更に利便性を向上するため、製品のフロントパネルにはセカンド USB マウスポートが、製品のリアパネルにはセカンドユーザー用にセカンドコンソールポート (USB マウス、USB キーボード、DVI モニターおよび VGA モニターポート) が搭載されています。

セットアップは同梱の USB DVI ケーブルを使用して、本製品の KVM ポートとお使いの KVM スイッチのコンソールポートとを接続するだけなので簡単にでき、すぐに製品を使用することができます。

CL6700 のファームウェアはアップグレードすることができるので、アップデートされたファームウェアを ATEN の Web サイトからダウンロードするだけで、簡単に製品の機能を最新の状態にすることができます。

特長

- ◆ 19 インチ DVI 対応 LCD 一体型 KVM コンソールドロワー 1U サイズで快適なコンソール操作環境を提供
- ◆ 標準ラックマウントキットに加え、1 人でも簡単に取り付けが可能なイージーラックマウントキット同梱(ショート/ロング選択)
- ◆ セカンドコンソールポート(USB キーボード、USB マウス、DVI および VGA ポート)搭載
- ◆ フロントパネルには USB マウスポートを搭載ーホットプラグ対応。USB ハブポートとしても使用可能
- ◆ 解像度ー最大 1,280×1,024@75Hz、DDC、DDC2、DDC2B 準拠
- ◆ オーディオ対応(スピーカーのみ)
- ◆ OADG 109A/JIS 準拠 105 キーボード搭載、Sun キーボードエミュレーション対応
- ◆ マルチプラットフォーム対応ーWindows、Linux、Mac および Sun
- ◆ ATEN 製 DVI KVM スイッチに対応
- ◆ ラック取り付け奥行きはレールキットで調節可能
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ コンソールロック機能ー未使用時にはコンソールドロワーを内側にロック可能
- ◆ DDC エミュレーション対応ー各コンピューターのビデオ設定は、モニターに最適な出力になるように自動調整
- ◆ 対応キーボード言語 - 英語(アメリカ)、英語(イギリス)、ドイツ語、ドイツ語(スイス)、フランス語、スペイン語、繁体中国語、日本語、韓国語、スウェーデン語、イタリア語、ロシア語、ハンガリー語、ギリシャ語

システム要件

LCD コンソール

- ◆ 本製品はほとんどの ATEN 製 DVI KVM スイッチに対応しています。ご使用の KVM スイッチが対応しているかどうかご不明な場合は、販売店までお問い合わせください。
- ◆ LCD モニターの最大解像度は 1,280×1,024@75Hz です。接続されたコンピューター全ての解像度がこの LCD モニターの最大解像度を超えないように設定してください。

セカンドコンソール

- ◆ 接続されたコンピューター全ての最大解像度が表示できるVGA、SVGAまたはマルチスキャン対応モニター
- ◆ USB キーボードおよびマウス

ケーブル

最適な信号の整合性やレイアウトの単純化のためにも、下表に記載された様々な長さの高品質専用ケーブルを販売店からご購入されることを推奨いたします。

ケーブル長 (m)	型番	備考
1.8	2L-7D02U	DVI-D
3.0	2L-7D03U	DVI-D
5.0	2L-7D05U	DVI-D
1.8	2L-7D02UI	DVI-I
3.0	2L-7D03UI	DVI-I

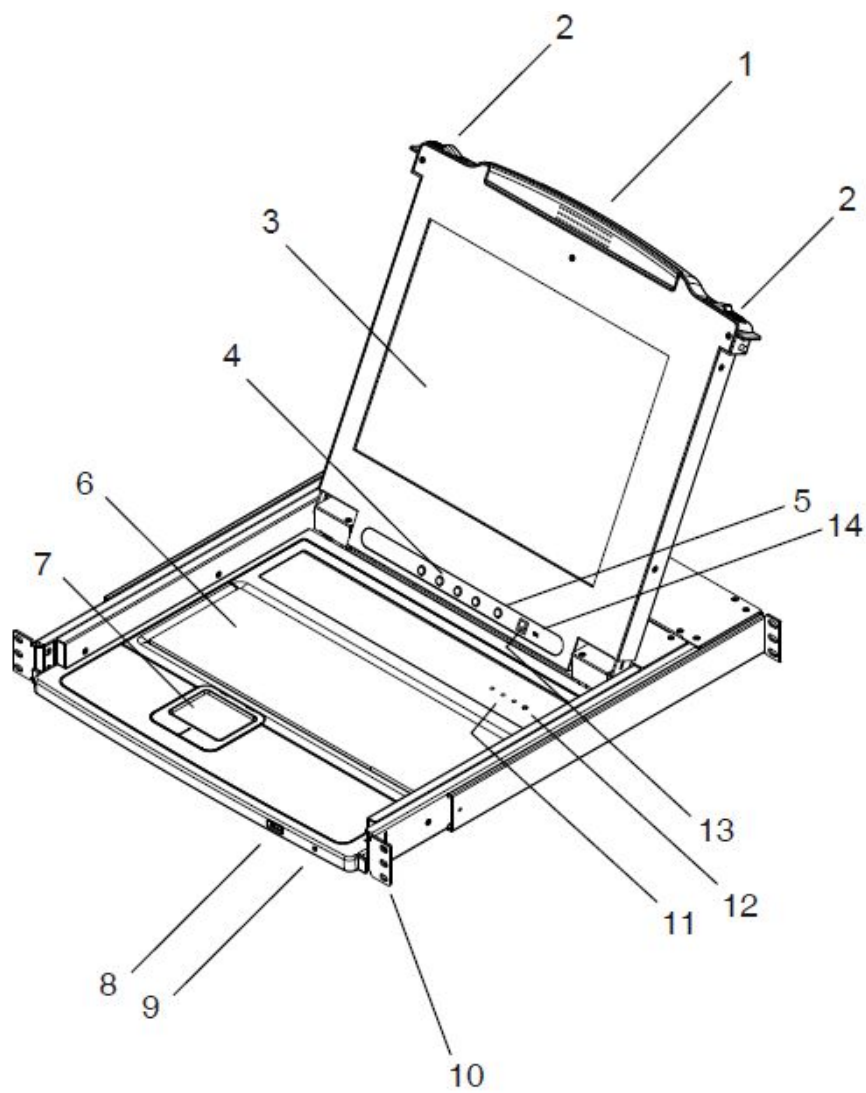
OS

本製品の対応 OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		NT 以降
Linux	RedHat	9.0 以降
	SuSE	10 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
UNIX	AIX	4.3 以降
	FreeBSD	5.5 以降
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	5.0 以降
Mac		OS 9.0 以降
DOS		6.2 以降

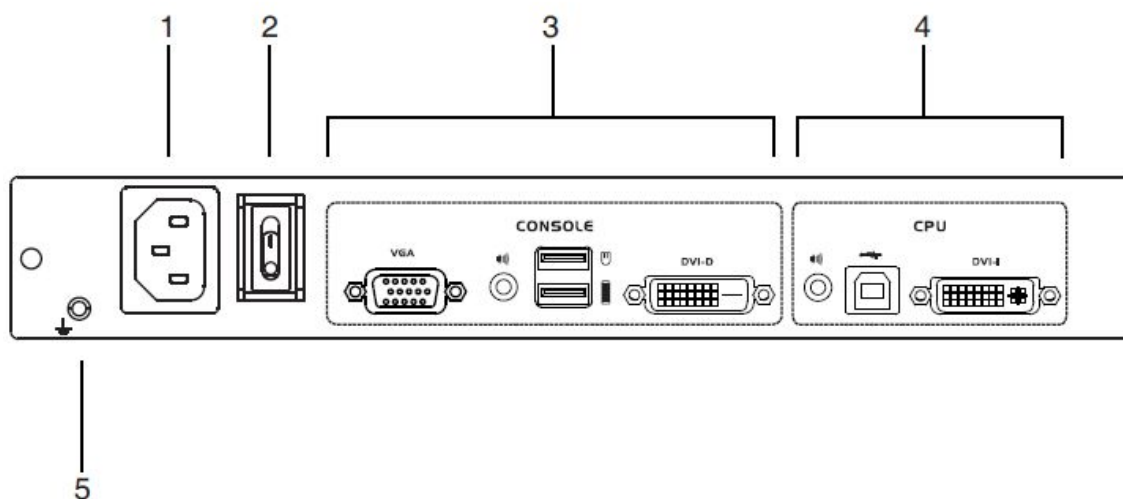
製品各部名称

フロントパネル



No.	名称	説明
1	上部ハンドル	LCD モジュールを引き出す、または中へ収納する際に使用します。コンソールの出し入れについての詳細は p.25「コンソールを開く」を参照してください。
2	モジュールリリース キャッチ	コンソールを引き出すには、この留め金の中へスライドさせて、外さなければなりません。
3	LCD モジュール	LCD モジュールを引き出した後、カバーを開けるとLCD ディスプレイが使用できます。
4	LCD コントロール	ここに LED ディスプレイの画像の位置や画質を設定するボタンがあります。詳細は p.28 を参照してください。
5	LCD On/Off ボタン	このボタンを押すと、LCD モニターの On/Off ができます。LCD モニターが Off の時にはこのボタンが点灯します。 注意: このライトはモニターのみが Off であることを示し、接続された KVM スイッチの状態を表しているではありません。
6	キーボード モジュール	JIS 準拠 105 キーボードです。
7	タッチパッド	標準マウスタッチパッドです。
8	USB ポート	この USB ポートには、コンソールに USB 周辺機器 (フラッシュドライブ、CD-ROM ドライブなど) を接続したり、または外付マウスを使用したいユーザー用の USB マウスを接続したりすることができます。
9	電源 LED	本製品に電源が入っている場合に点灯 (ブルー) します。
10	ラックマウントタブ	本製品の各角にはラックマウントタブがあります。詳細は p.17「標準ラックマウント」を参照してください。
11	Lock LED	[Num Lock]、[Caps Lock]、[Scroll Lock] の LED ランプがここにあります。
12	リセットスイッチ	Lock LED の右側に位置しています。先の細い物でこのピンホール型スイッチを押すとシステムのリセットを実行します。
13	ファームウェアアップ グレードポート	管理者のコンピューターからファームウェアアップグレードデータを転送するのに用いるファームウェアアップグレードケーブルは、こちらの RJ-11 ポートに接続します。
14	ファームウェアアップ グレードスイッチ	通常操作時、およびファームウェアアップグレード実行時には、このスイッチを「NORMAL」の位置に合わせてください。ファームウェアアップグレード操作が失敗した場合に、このスイッチを使用してファームウェアアップグレードリカバリーを行います。詳細は、p.38「ファームウェアアップグレードリカバリー」を参照してください。

リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	これは標準的な 3 極 AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コードをここに接続します。
2	電源スイッチ	これは標準的なロックスイッチで CL6700 の電源を入れたり切ったりします。
3	セカンドコンソール セクション	柔軟性と利便性を持たせるために、CL6700 ではセカンド KVM コンソールを接続することができます。セカンドコンソールとなる USB キーボード、DVI または VGA モニター、USB マウスおよびオーディオスピーカーのケーブルをここに接続します。
4	KVM ポートセクション	CL6700 とコンピューターまたは KVM スイッチとを接続するための本製品に同梱された KVM ケーブルをここに接続します。
5	接地ターミナル	本製品を接地するための接地線をここに接続します。

第2章 セットアップ方法

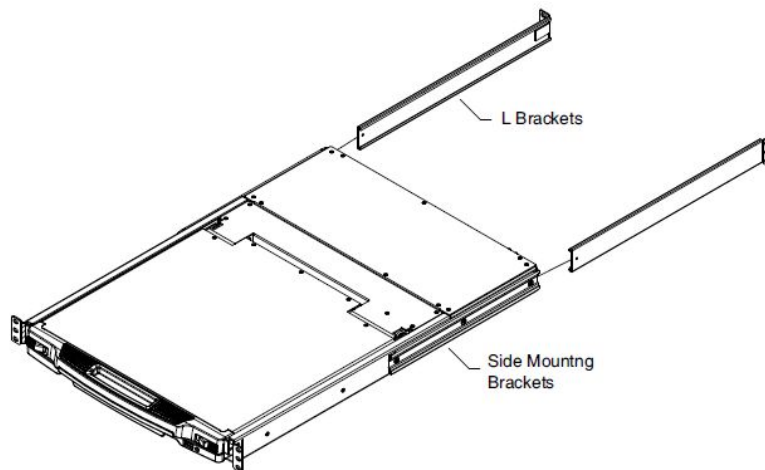
セットアップの前に



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.4 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

標準ラックマウント

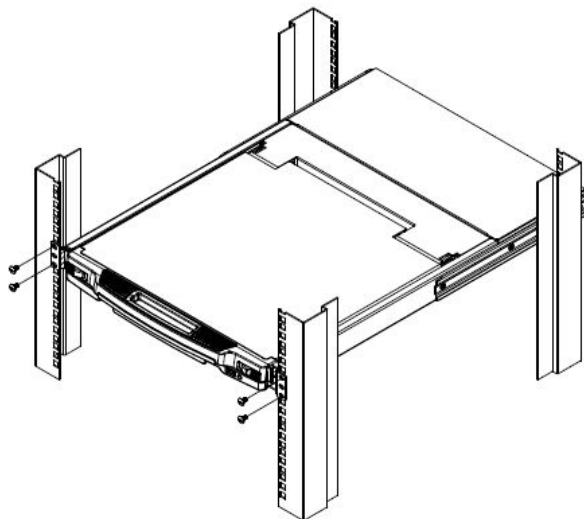
CL6700 には標準ラックマウントキットが同梱されています。この標準ラックマウントキットを使用して製品本体の取付ができるラックの奥行きは 52～85cm です。



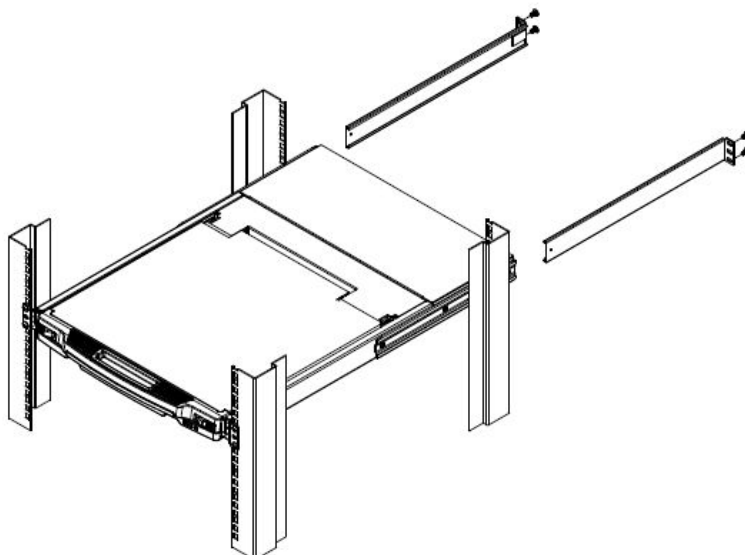
- 注意:**
1. 製品のラックへの取付作業は本製品を保持する作業者とネジ止めする作業者というように 2 人以上で行うようにしてください。
 2. 標準ラックマウントキットにはネジやケージナットは同梱されていません。追加でネジやケージナットが必要な場合は、ラック販売店にお問い合わせください。
 3. オプションのイージーセットアップラックマウントキットが製品に同梱されています。イージーセットアップラックマウントキットの取付方法は p.19 をご参照ください。

ラックへの取付は以下の手順で行ってください。

1. 1 人が CL6700 をラックの定位置まで持ち上げて保持し、もう 1 人がラックにフロントブラケットをゆるくネジ止めしてください。



2. 最初の作業員が CL6700 を定位置に保持したまま、もう 1 人の作業員は L 型レールを本製品のリア側からブラケットがラックに接触するまで差し込んでください。その後、ラックに L 型レールをネジ止めしてください。



3. L 型レールが固定されたらフロントブラケットもしっかりとネジ止めしてください。

注意: 適切なエアフローを確保するために製品の両側に少なくとも 5cm 程度、ケーブル取り回しのスペースを確保するために製品リア側に少なくとも 13cm 程度の余裕を設けて設置してください。

イージーセットアップラックマウントキット

イージーセットアップラックマウントキットは、標準キットに比べて非常に簡単に製品のマウント作業ができるように設計されたものです。対応ラックの仕様は下記をご参照ください。

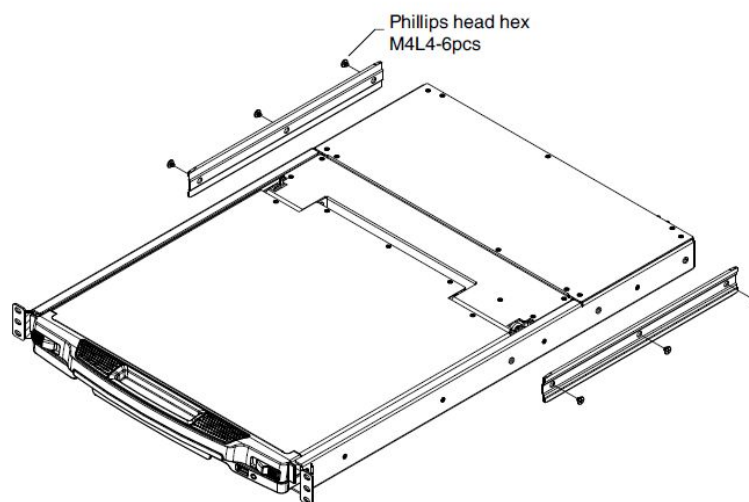
モデル		対応ラック奥行き (取付支柱間の距離)	型番
19 インチ LCD モデル	CL6700	ショート(42cm～70cm)	CL6700NJJS
		ロング(68cm～105cm)	CL6700NJL

注意： ラックマウントキットの対応奥行き表示は、ラック取付支柱間の距離を表しています。実際のラックマウント作業の際には、ラック内寸に対するドロワー本体の奥行きやケーブル取り回しを考慮する必要がありますのでご注意ください。

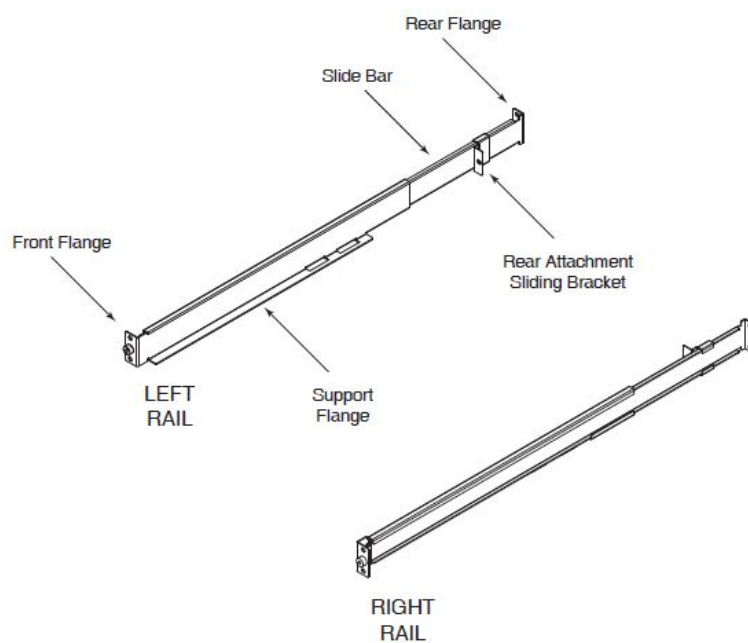
ロングレールキットの標準ラックマウントキットを取り付けるには、同梱のショートレールをロングレールに交換し、p.17「標準ラックマウント」作業手順に沿って CL6700 を取り付けるだけです。

標準的なラックマウントは二人で作業を行うのに対し、イージーセットアップラックマウントキットの場合は、一人で CL6700 をラック取り付けることが可能です。イージーセットアップラックマウントキットを使用してのマウント作業は下記の手順に従ってください(ショート/ロング共通)。

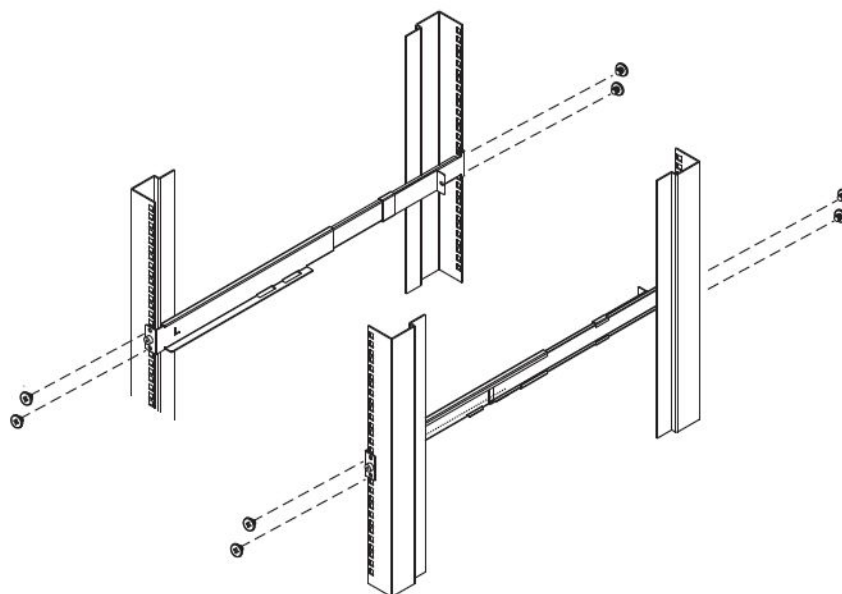
1. CL6700 の両側から標準 L 型レール(図では表示されていません)とサイドマウントレールを外してください。



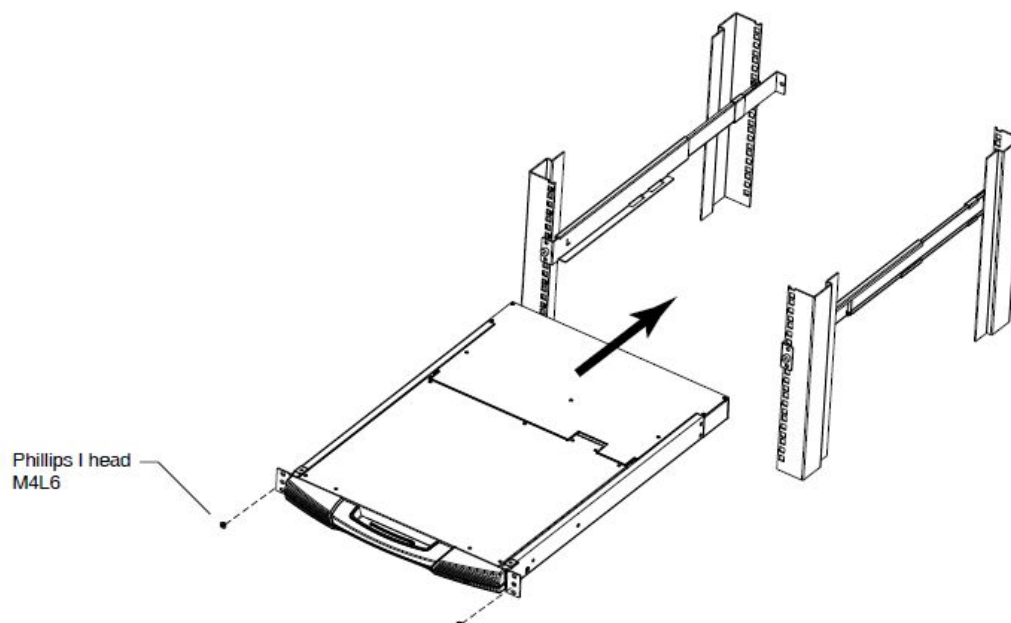
2. ラックの内側に左右のイーजीラックマウントキットのレールを取り付けてください。CL6700 を支えるフランジが中に入っています。ラックとレールを取り付けるビスやケージナットは本製品に同梱しておりませんので、別途ラックメーカーよりご購入ください。



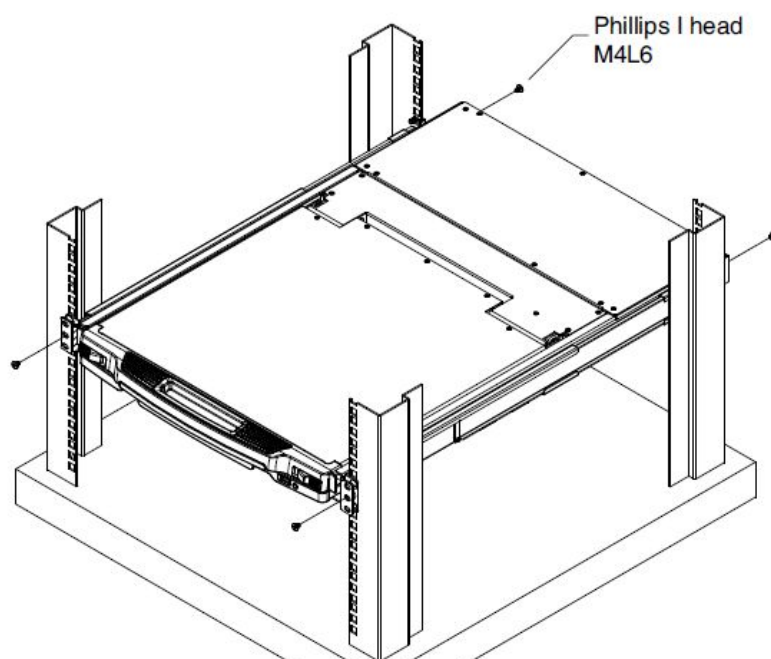
- a) まず、フロントフランジをラックにネジ止めしてください。
b) レールのスライドバーをリアフランジがラックに接触するまでスライドさせた後、リアフランジをラックにネジ止めしてください。



3. サポートフランジの上に CL6700 をスライドさせてください。本製品に同梱されているネジを使用して本製品のフロントパネルとラックのフロント部分を軽くネジ止めしてください。



4. リアアタッチメントスライディングブラケットをスライドバーが CL6700 のリア部分に接触するまでスライドさせた後、本製品に同梱されているネジを使用してスライドバーを本製品のリア部分にしっかりと最後までネジ止めしてください。



5. CL6700 を何回かスライドさせて出したり入れたりして、本製品が正しい位置に設置され、スムーズに出し入れできることを確認してください(出し入れ方法については、p.25「コンソールを開く」を参照)。
6. CL6700 が正しい位置に設置され、操作も正しく行えることが確定したら、手順 3 で軽くネジ止めたフロント部分のネジを全てしっかりとネジ止めしてください。

セットアップ

次ページの接続図を参照しながらセットアップ手順に従ってください。

1. 本製品に同梱されている(または別途購入された)KVM ケーブル(p.12「ケーブル参照」)の USB、DVI およびオーディオコネクタを CL6700 の KVM ポートに接続してください。

注意: CL6700 はスピーカーの接続にのみ対応しており、マイクロフォンには対応しておりません。KVM ケーブルのスピーカージャック(グリーン)を CL6700 のオーディオポートに接続するようにしてください。なお、CL6700 製品本体にはスピーカーは内蔵されていません。

2. KVM ケーブルのキーボード、モニター、マウスおよびオーディオコネクタを KVM スwitch のコンソールセクションにある対応するポートへそれぞれ接続してください。

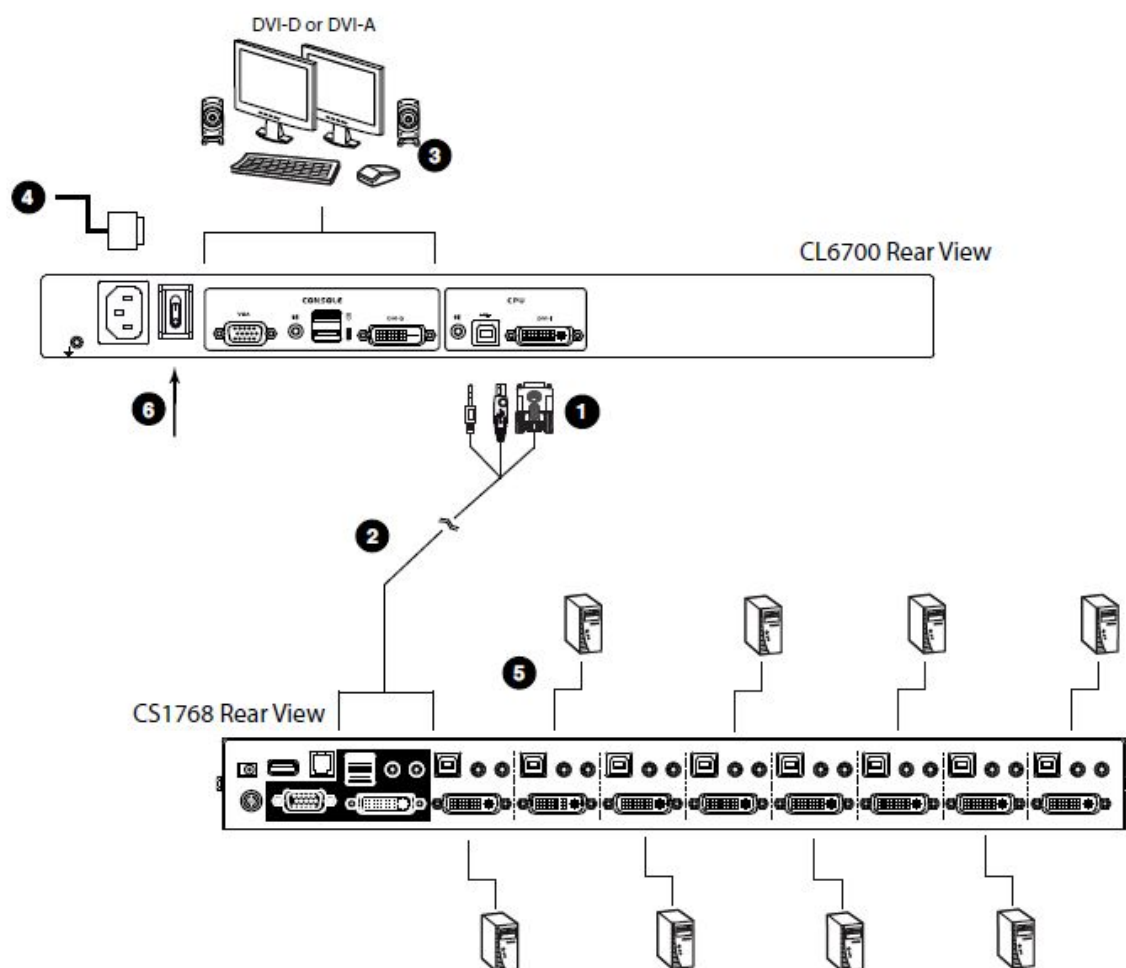
注意: 製品に同梱されている KVM ケーブル(2L-7D02U)は DVI-D タイプのケーブルです。PC 側が DVI-I の場合は、別途ケーブルをご用意ください(p.40 参照)。

3. セカンドコンソールを使用する場合、キーボード、モニター、マウスおよびスピーカーを CL6700 のコンソールセクションにある対応するポートにそれぞれ接続してください。

注意: CL6700 はセカンドコンソールモニターとして VGA と DVI モニター両方に対応していますが、1度に DVI-D または VGA のどちらか 1 つのビデオ信号しか表示できません。DVI モニターでは DVI-D 信号のみが表示されます。DVI-A 信号は VGA モニターでしか表示されません。

4. 電源コードを CL6700 の電源ソケットに接続してから AC 電源に接続してください。
5. セットアップされた KVM 機器の電源を入れてください。
6. CL6700 の電源を入れてください。

接続図

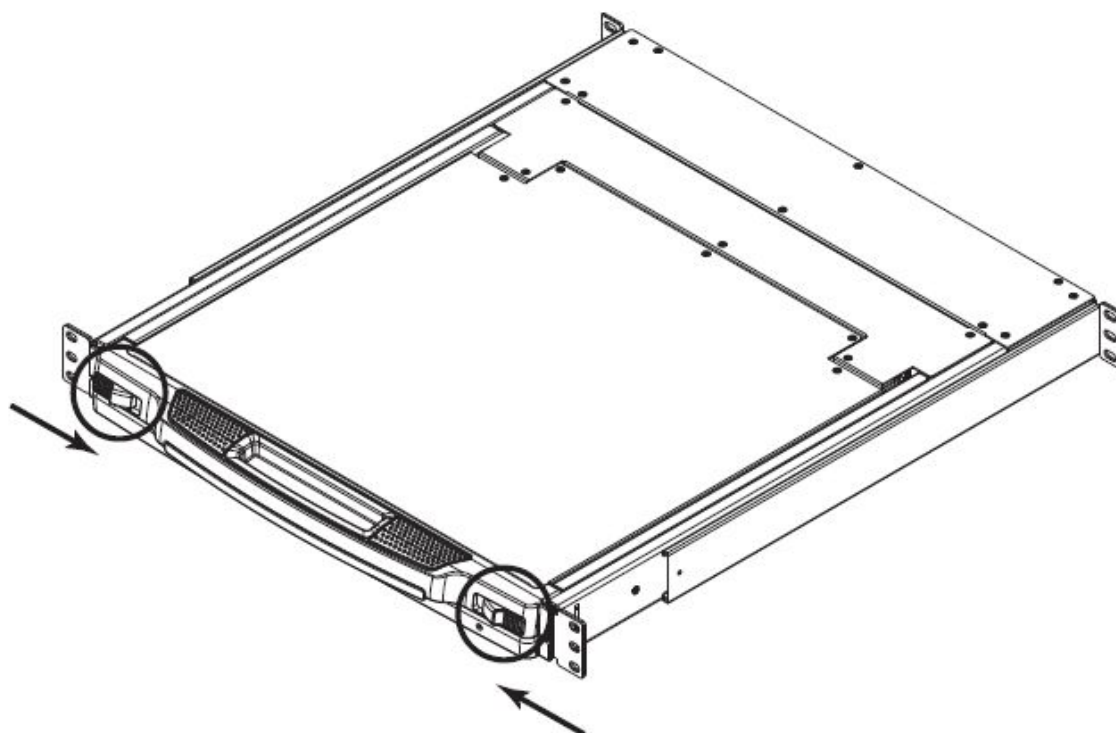


第3章 基本操作

コンソールを開く

CL6700 のコンソールは、上部パネルに取り付けられています。コンソールを使用するには、コンソールモジュールを引き出してから、上部パネルを開けてください。

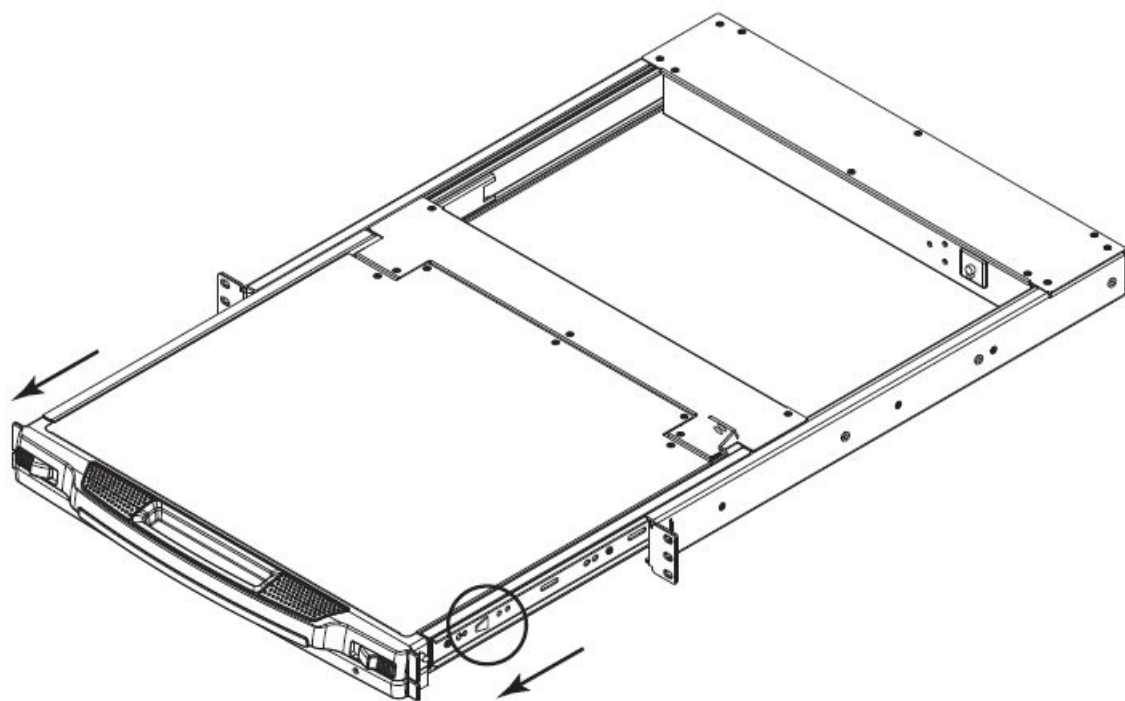
注意： コンソールが誤って外に滑り出さないようにするために、安全措置として、コンソールは「In」の位置でロックされます。コンソールモジュールを引き出す前に、下図のように本製品のフロントパネルにある留め金を押して、ロックを解除しなければなりません。



コンソールを閉じる

コンソールモジュールをスライドさせて収納するには、上部パネルを閉じてから、以下の手順に従ってください。

1. 本製品の両側のレールにあるセーフティキャッチを手前に引き、モジュールを奥へ動かなくなるまで押してください。
2. キャッチから手を離してください。モジュールを少しだけ手前に引き戻してから、完全にラックに格納されるまで本製品を押してください。

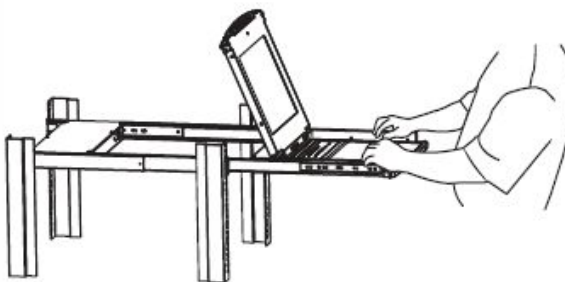
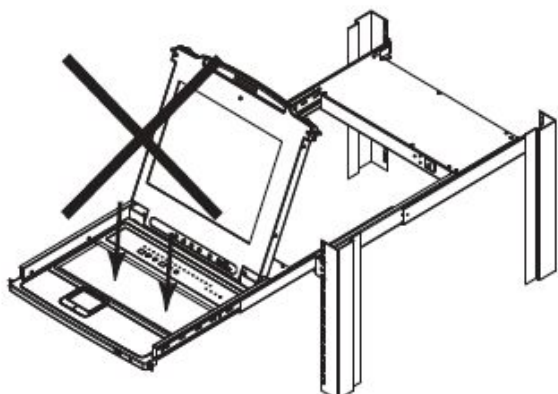


注意: 手順を2つに分けたのは、モジュールをスライドさせて格納する際に指を挟む可能性を最小限にするためです。

操作上の注意事項



キーボードモジュールの最大積載重量は 30kg です。キーボードモジュールが破損するのを防ぐためにも下記のことを守ってください。

	正しい使用方法 手を軽くキーボードモジュールに置いて作業する。
	間違った使用方法 ◆ キーボードモジュールに体重をかけないでください。 ◆ キーボードモジュールに重いものを載せないでください。

LCD OSD 設定

LCD ボタン

OSD を使用して LCD ディスプレイのセットアップや設定を行うことができます。設定には下表で示した 4 つのボタンが使用されます。

ボタン	機能
MENU	◆ LCD OSD メニュー機能を使用していない時にこのボタンを押すと、OSD メニュー機能を起動し、メインメニューが表示されます。 ◆ LCD OSD メニュー機能を使用していて、ナビゲーションボタンで設定オプションを操作しているときにこのボタンを押すと、調整画面が表示されます。
	メニューを操作する際に、このボタンを押すと右、または上に移動します。調節を行う際に、このボタンを押すと値を増やすことができます。
	メニューを操作する際に、このボタンを押すと左、または下に移動します。調節を行う際に、このボタンを押すと値を減らすことができます。
EXIT	◆ LCD OSD メニュー機能を使用していない時にこのボタンを押すと、自動調整を実行します。自動調整では、OSD 側で最適な設定値を自動検出して LCD パネルの設定を行います。 ◆ LCD OSD メニュー機能を使用している時にこのボタンを押すと、現在のメニューを中止し、一つ前にメニューに戻ります。設定が済んだら、このボタンを押して調整メニューを終了してください。 ◆ メインメニュー機能使用時にこのボタンを押すと、LCD OSD メニューを終了します。

調整設定

LCD OSD メニューの調整設定の詳細は下表の通りです。

設定	説明
Brightness (明るさ)	スクリーンイメージのバックグラウンドの黒色レベルを調整します。
Contrast (コントラスト)	スクリーンイメージのフォアグラウンドの白色レベルを調整します。
Phase (フェーズ)	ピクセルジッターまたは水平線のノイズが画面に見える場合、ご使用の LCD のフェーズ設定が正しくない可能性があります。この問題を解決するにはフェーズ設定を調整してください。
Clock (クロック)	画面縦方向の波が見える場合、ご使用の LCD のクロック設定が正しくない可能性があります。この問題を解決するにはクロック設定を調整してください。
H-Position (水平位置)	LCD パネルの表示範囲の横方向の位置を設定します (表示範囲を左右に移動します)。
V-Position (垂直位置)	LCD パネルの表示範囲の縦方向の位置を合わせます (表示範囲を上下に移動します)。
Color Temperature (色温度)	ディスプレイの色の品質を調整します。赤みの度合いやカラーバランスが調整できます。「Adjust Color」メニューを選択すると、サブメニューで更に RGB 値を最適な状態に調節することができます。
Language (言語)	OSD メニューに表示される言語を選択します。
OSD Duration (OSD 持続時間)	画面に OSD が表示される時間を設定することができます。OSD への入力がないまま、ここで指定した時間が経過すると、OSD 画面は終了します。
Reset (リセット)	メニューおよびサブメニューで設定した値全てを工場出荷時のデフォルト値にリセットします。 注意: 言語はデフォルト値に戻らず、設定した言語のままです。

ホットプラグ

CL6700 はホットプラグに対応しているので、本製品の電源を落とすことなく、ケーブルを抜いたり接続したりするだけで、機器を取り外したり追加したりすることができます。

シャットダウンと再起動

CL6700 をシャットダウンする(例:ファームウェアのアップグレード時)必要がある場合、リアパネルにある電源スイッチを使用して、本製品の電源を切ってください。CL6700 を再起動するには、本製品のリアパネルにある電源スイッチを押して電源を入れてください。

ポート ID の割り当て、およびポートの選択

ポート ID の割り当て、およびポートの選択方法については、CL6700 に接続された KVM スイッチで使用されている方法に従ってください。詳細は、KVM スイッチのユーザーマニュアルを参照してください。

ホットキー

下表に示したホットキーで CL6700 のコンソール選択を行うことができます。

ホットキー	説明
[Ctrl] [Alt] [Shift] [P] [C] [Enter]	キーボードエミュレーションをノーマルモード (Windows など) に設定します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [M] [A] [C] [Enter]	キーボードエミュレーションを MAC に設定します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [S] [U] [N] [Enter]	キーボードエミュレーションを SUN に設定します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [u] [p] [g] [r] [a] [d] [e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します (p.33 参照)。 注意: このホットキーはファームウェアアップグレードリカバリースイッチ (p.15 参照) が「Normal」の位置にある場合にのみ動作します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [L] [Enter]	ローカル (LCD) コンソールを有効にし、リモート (セカンド) コンソールを無効にします。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [R] [Enter]	リモート (セカンド) コンソールを有効にし、ローカル (LCD) コンソールを無効にします。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [L] [R] [Enter] または [Ctrl] [Alt] [Shift] [R] [L] [Enter]	両方のコンソールを有効にします (デフォルト値)。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [U] [M] [Enter]	フロント USB ポートをマウスモードに設定します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [U] [P] [Enter]	フロント USB ポートを周辺機器モードに設定します。

- 注意:**
1. キーは、まず[Ctrl]、次に[Alt]、次に[Shift]というように、1 度に 1 つずつ順番に押してください。
 2. コンソールの選択は保存されません。CL6700 の電源を切ると、次に電源を入れた時には両方のコンソールが有効となるデフォルト値に戻ります。
 3. CL6700 に接続された KVM スイッチが[Ctrl] [Alt] [Shift]というキーを使用してホットキーモードを起動させる場合、CL6700 はそのホットキーをまずコンソールの選択用のホットキーと捉えるため、KVM スイッチへのホットキー操作はできません。

第4章

ファームウェアアップグレード

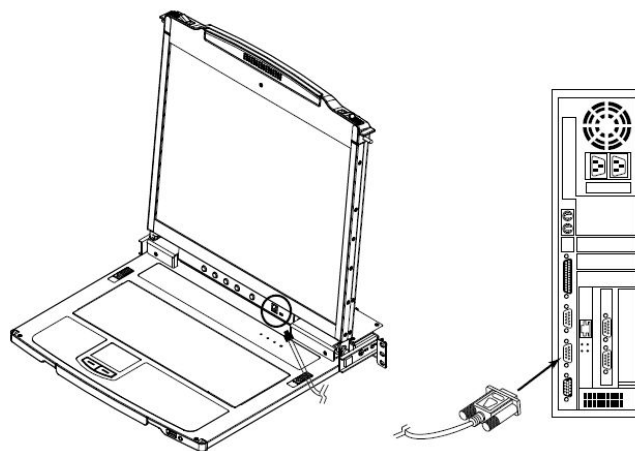
ファームウェアアップグレードユーティリティ

CL6700 の新しいファームウェアが利用できるになると、ATEN の Web サイトにそのファームウェアアップグレードパッケージが公開されます。Window ベースのファームウェアアップグレードユーティリティ(FWUpgrade.exe)を使用して、CL6700 のファームウェアを自動的にアップグレードさせることができます。弊社 Web サイト(<http://www.atenjapan.jp>)にて、最新のファームウェアや関連情報を定期的にご確認ください。

作業を始める前に

アップグレードを始める前に、以下の作業を行ってください。

1. CL6700 に接続されていないコンピューターから ATEN のインターネットサポートサイトにアクセスし、ファームウェアアップグレードパッケージのリストからお使いのデバイス(CL6700)の型番を選択してください。
2. インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新版)を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
3. 本製品に同梱されたファームウェアアップグレードケーブルを使用して、上記のコンピューターの COM ポートと CL6700 のファームウェアアップグレードポートとを接続してください。



ファームウェアアップグレードモード

CL6700 のファームウェアアップグレードモードへはホットキーを入力する (p.31「ホットキー」参照)、または CL6700 をファームウェアアップグレードリカバリーモードに設定する (p.38「ファームウェアアップグレードリカバリー」参照)、という 2 通りのアクセス方法があります。

注意: ホットキーを使用してファームウェアアップグレードモードを起動するには、ファームウェアアップグレードスイッチ (p.15 参照) が「**Normal**」の位置になければなりません。

1. CL6700 のコンソールの後側にある電源スイッチを使用して、CL6700 の電源を切ってください。
2. ファームウェアアップグレードスイッチを「NORMAL」の位置にスライドしてください (p.15 参照)。
3. CL6700 のコンソールの後側にある電源スイッチを使用して、CL6700 の電源を入れてください。

CL6700 がファームウェアアップグレードモード中にある場合、[Num Lock]、[Caps Lock]、および [Scroll Lock] の LED が点滅します。

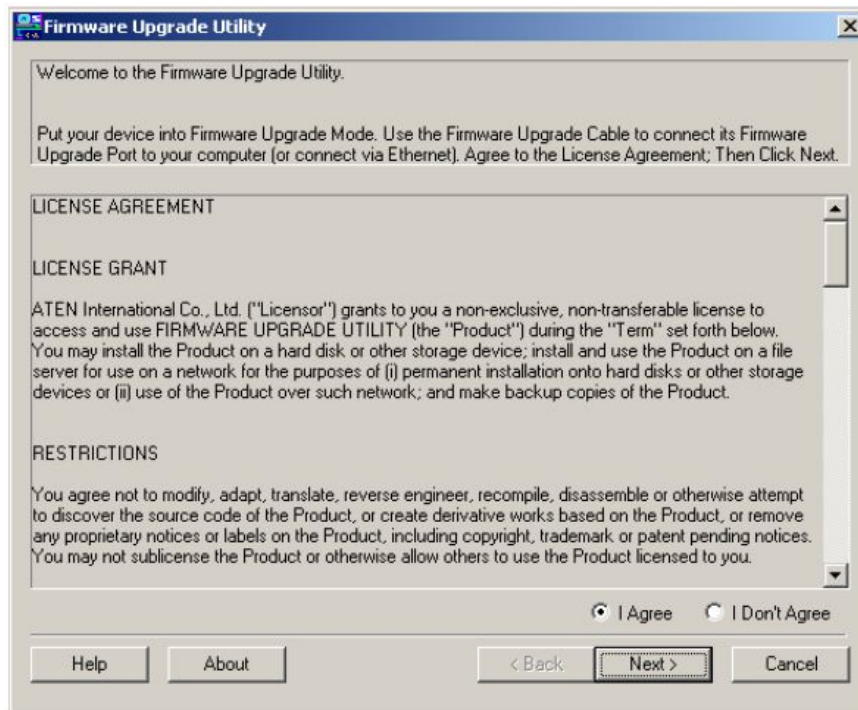
ファームウェアアップグレードモードを終了するには、p.38「ファームウェアアップグレードモードの終了」を参照してください。

アップグレードの実行

アップグレードの開始

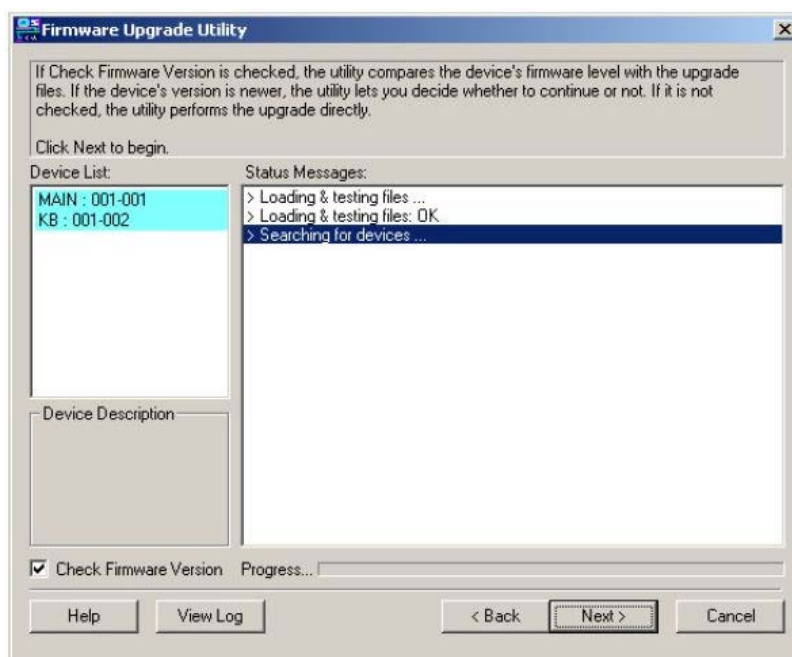
1. CL6700 のファームウェアアップグレードモードで、アイコンをダブルクリックするか、フルパスとファイル名をコマンドラインに指定するかして、コンピューターにダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージを実行してください。

「Firmware Upgrade Utility」の初期画面が表示されます。



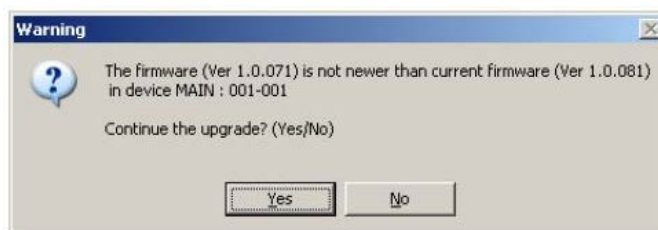
2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。

3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



ユーティリティがセットアップされた機器を検査し、このパッケージでアップグレードできるデバイス全てが「Device List(デバイスリスト)」パネルに表示されます。

4. 「Next」をクリックしてアップグレードを実行してください。
- ◆ 「Check Firmware Version」を有効にするとユーティリティはデバイスのファームウェアのバージョンとファームウェアアップグレードファイルのバージョンとを比較します。デバイスのファームウェアのバージョンがアップグレードファイルのバージョンよりも新しければ、ダイアログボックスにその旨が表示されるので、このままアップグレードを続けるかどうかを選択してください。

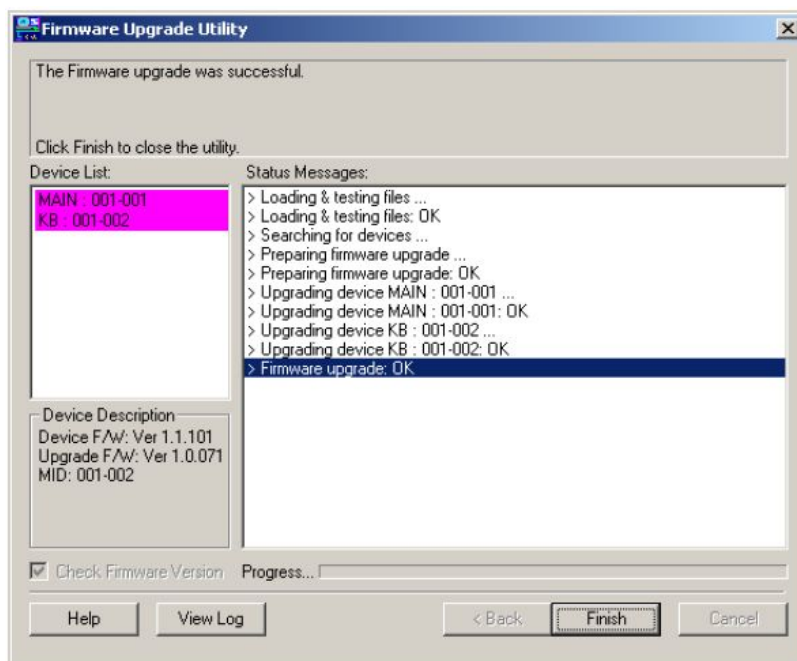


「Check Firmware Version」を有効にしなかった場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較せずにそのままインストールされます。

- ◆ アップグレードの進行具合は「Status Message Panel」に表示され、またプログレスバーに進捗状況が表示されます。

アップグレードの成功

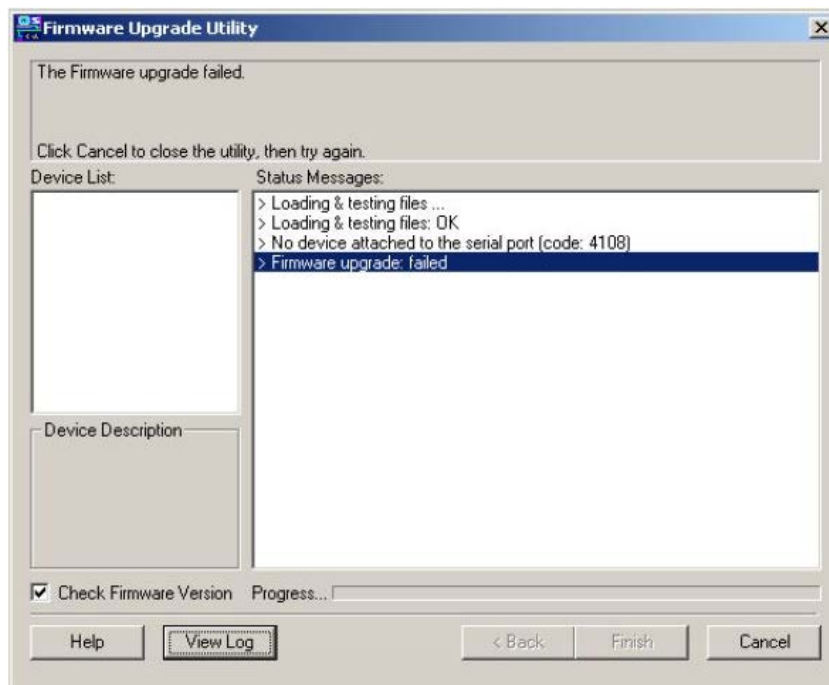
アップグレードが完了すると、以下の画面が表示され、アップグレードが成功したことを表します。



「Finish」をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

アップグレードの失敗

アップグレードに失敗した場合には、「Upgrade Failed」(アップグレードの失敗)の画面が表示されます。



「Cancel」をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。次項の「ファームウェアアップグレードリカバリー」を参照しながら、作業を続けてください。

ファームウェアアップグレードリカバリー

下記 3 つの条件の際に、ファームウェアアップグレードリカバリーを行う必要があります。

- ◆ 本製品のファームウェアが不明な理由により中断され、操作できなくなった場合。
- ◆ ファームウェアアップグレード中に割り込みが入った場合。
- ◆ ファームウェアアップグレードの進行が失敗した場合。

ファームウェアアップグレードリカバリーを行うには、下記の手順に従ってください。

1. CL6700 の電源を切ってください。
2. ファームウェアアップグレードケーブルをファームウェアアップグレードポートに接続してください。
3. ファームウェアアップグレードリカバリースイッチを「**Recover**」の位置にスライドしてください。
4. CL6700 に電源を入れ、アップグレード手順を繰り返してください。
5. CL6700 のアップグレードに成功したら、電源を切り、ファームウェアアップグレードリカバリースイッチを元の「**Normal**」の位置に戻してください。
6. CL6700 の電源を入れてください。

ファームウェアアップグレードモードの終了

ファームウェアアップグレードモードを終了するには、下記の手順に従ってください。

1. ファームウェアアップグレードスイッチ (p.15 参照) を「**Normal**」の位置にスライドしてください。
2. p.30「シャットダウンと再起動」に記載された手順に従って、CL6700 をシャットダウンしてから、再起動してください。

付録

製品仕様

機能		CL6700
コンピューター接続数	ダイレクト接続	1
	最大	(接続する KVM スイッチに依存)
セカンドコンソール		1
コンピューター側 対応インターフェース	キーボード	USB
	マウス	
セカンドコンソール側 対応インターフェース	キーボード	USB
	マウス	
ポート選択方法		(接続する KVM スイッチに依存)
コンソール選択方法		ホットキー
コンピューター側 コネクタ	キーボード/マウス	USB タイプ B メス×1
	モニター	DVI-I メス×1
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1
セカンドコンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1
	マウス	USB タイプ A メス×1
	モニター1	DVI-D メス×1
	モニター2	D-sub15 ピンメス×1
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1
スイッチ	リセット	ピンホール型スイッチ×1
	電源	ロッカースイッチ×1
	ファームウェアアップ グレード	スライドスイッチ×1
	LCD 電源	プッシュボタン×1
	LCD 調節	プッシュボタン×4
USB2.0 ポート		USB タイプ A メス×1
電源ソケット		3 極 AC 電源ソケット×1

(表は次ページへと続きます。)

機能		CL6700
LED	電源	グリーン×1
	Num Lock	グリーン×1
	Caps Lock	グリーン×1
	Scroll Lock	グリーン×1
キーボード・マウスエミュレーション		PS/2、USB
電源仕様		AC100～240V、50/60Hz
消費電力		24.6W
解像度		最大 1,280×1,024@75Hz、DDC2B 準拠
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース材料		メタル
重量		13.09kg
サイズ(W×D×H)		480×589×44mm
同梱品		2L-7D02U (1.8m)ケーブル×1 電源ケーブル×1 ファームウェアアップグレードケーブル×1 クイックスタートガイド×1 イージーセットアップラックマウントキット (ショート or ロング)×1
対応 KVM ケーブル		《DVI-D KVM ケーブル》 2L-7D02U(1.8m) 2L-7D03U(3m) 2L-7D05U(5m) 《DVI-I KVM ケーブル》 2L-7D02UI(1.8m) 2L-7D03UI(3m) * 子機側でも DVI-I を利用する場合は、 接続時に DVI-I タイプのケーブルをお使い ください。

Mac キーボードエミュレーション

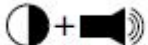
キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意： 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

Sun キーボードエミュレーション

[Ctrl]キーとほかのキーを組み合わせることで、PC 互換(101/104 キー)キーボードからキーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun のキーボードのファンクションキーを使用することができます。該当する機能については下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

トラブルシューティング

問題	解決方法
セカンドコンソールモニターにゴーストが映る。	セカンドコンソールモニターとCL6700との距離が離れすぎています。DVI ケーブルの最大の長さは 20m まで、場合によってはケーブル長を短くする必要があります。DVI ケーブルを現在の物より短く、適切な長さの物に交換してください。
キーボードから入力したいいくつかの文字が正しく表示されない。	ポートのキーボードレイアウト設定がご使用のキーボードと合っていません。スイッチでポートのキーボードレイアウトをご使用のキーボードレイアウトに合うように変更してください。
Sun コンピューターを操作するのに、Sun の外部キーボードの特殊キーが使用できない。	Sun キーボード機能を得るには、Sun キーボードエミュレーション機能 (p.42 参照) を使用してください。